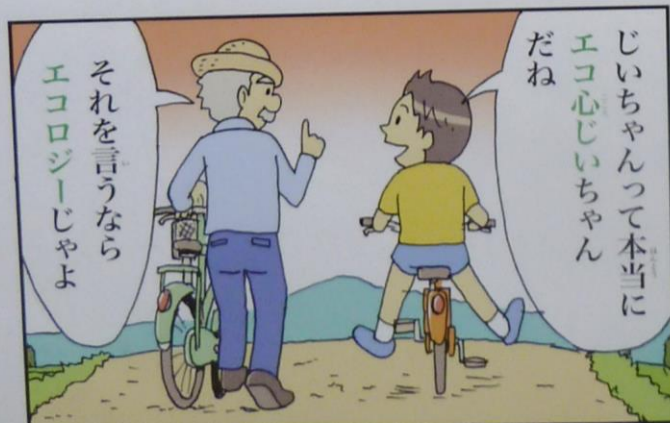
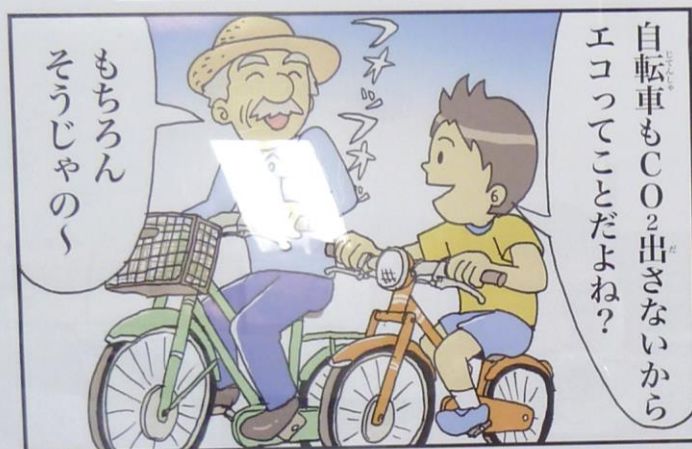




レジ袋の豆知識

コンビニやスーパーなどに買い物にいくと品物をいれてくれるレジ袋は、1年間に約305億枚も使われていると推計され、国民一人あたり約300枚を使用していることになります。

1年間
約305億枚



1人あたり
約300枚

レジ袋を減らせば、資源の節約

レジ袋は石油から作られるプラスチック製品です。305億枚のレジ袋を作って処分するまでに使う原油の量を計算すると、約42億リットル、これは超大型の石油タンカー2隻が約1200個分がいっぱいになる量に相当します。

(産業技術総合研究所試算)



ごみが減って地球温暖化の防止につながる

使い終わったレジ袋のほとんどが廃棄され、ごみとなっています。また、ごみを燃やせば地球温暖化の原因となる温室効果ガスCO₂が排出されます。レジ袋を減らすことが地球を守ることにつながるといっても過言ではありません。



自然動物への影響

レジ袋の中には、土に還ることなく自然界に残るものもあります。山や川、海などに捨てられたレジ袋を野生の動物・魚が飲み込み、窒息するといった問題も起きています。また、飲み込んだレジ袋を胃で分解できず、命を落とすといったケースも見られます。

